科目名	45．状況判断能力を育てる				
履修年次	１年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	１単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	直感的思考を通して臨床判断のプロセスを理解することができる				
到達目標	１）臨床判断能力のプロセスを踏まえ、対象に応じた気づきや解釈を表現することができる ２）協同学習を通して、経験値を高め、看護の視点や思考を広げようとしている				
評価方法	筆記試験（50点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（50点）による総合評価を行う				
使用 テキスト					
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	看護の対象は人間です。その対象に対して看護を実践するためには自分自身の知識や技術、患者や家族を理解し関係を構築する力、倫理的で安全な環境をつくる力が患者へのケアの質を決定づけます。自分の看護を常に最良の状態にするためには自らの実践をモニターし、思考するというサイクルが必要不可欠です。そのプロセスを理解するとともに、直感的思考(気づきや経験知)、批判的思考ををもとに状況判断能力するための能力を養ってほしい。そのサイクルの1番はじめに「気づく」があります。まずはその「気づく力」を身につけて欲しいと思います。そのためには日常生活体験からの「気づき」を自分の気づきだけではなく、他者の気づきも共有することで視野を広く持つことができると思います。講義は学習者の能動的な学習への参加を基盤に仲間とともに学びあう協同学習を取り入れて進めます。それぞれが責任をもって事前・事後課題に取り組み、グループの中でそれぞれの役割を果たしつつ、看護について多方面から検討し、思考を深めていってください。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	「気づく」トレーニング①	本授業の目的・到達度・授業ルールの説明 生活体験からの気づきと気づきを通した解釈・反応 題材①：学校内の状況	講義 演習
2	省察トレーニング	生活体験からの気づきを通した解釈に基づいた反応への省察 題材①：本校周辺地域の状況に基づいた反応	講義 演習
3	「気づく」トレーニング②	生活体験からの気づきと気づきを通した解釈・反応 題材②：本校の周辺地域の状況	講義 演習 (学外)

4	省察トレーニング	生活体験からの気づきと気づきを通した解釈に基づいた反応への省察 題材②：本校の周辺地域の状況に基づいた反応	講義 演習
5	臨床判断トレーニング	臨床判断とは　状況判断とは　臨床判断のプロセス 臨床判断を構成する要素　臨床判断に必要な能力 コンテクスト（ときに省察）→気づき→解釈→反応→省察	講義 演習
6	「気づく」トレーニング③	看護場面からの気づきと解釈	講義 演習
7	「気づく」トレーニング④	看護場面からの気づきと解釈	講義 演習
8	「気づく」トレーニング⑤	看護場面からの気づきと解釈	講義 演習
9	臨床判断能力を育む①	看護場面からの気づきと解釈に基づいた反応	演習 (実習室)
10	臨床判断能力を育む②	看護場面をもとにした状況判断能力の育成	講義 演習
11	臨床判断能力を育む③	看護場面をもとにした状況判断能力の育成	講義 演習
12	臨床判断能力の活用①	看護場面からの気づきと解釈に基づいた反応	講義 演習
13	臨床判断能力の活用②	看護場面からの気づきと解釈に基づいた反応	演習 (実習室)
14	臨床判断能力の活用③	看護場面からの気づきと解釈に基づいた反応	講義 演習
15	臨床判断能力の活用④	看護場面からの気づきと解釈に基づいた反応 まとめ　発表	講義 演習